

第26回 The 26th Annual Meeting of
the Japanese Peripheral Nerve Society



日本末梢神経学会学術集会

— プログラム・抄録集 —

テーマ

「異なるアプローチから頂を目指して」

Reaching the summit through multiple approaches



会期 2015年9月18日(金)・19日(土)

会場 ホテル ブエナビスタ

会長 加藤 博之 信州大学医学部整形外科学教室教授

第26回日本末梢神経学会学術集会開催にあたって

第26回日本末梢神経学会学術集会 会長 **加藤 博之**
信州大学医学部整形外科学教室教授

末梢神経疾患の病態の解明と治療法の開発には、神経内科、整形外科、形成外科、脳神経外科などの先生方がそれぞれの手法で取り組んでおられます。そこで学術集会のテーマは、「異なるアプローチから頂を目指して」としました。学術集会が皆様に領域横断的な協力関係、情報交換の場を提供し、末梢神経学を新しい段階へ発展させることを期待して企画いたしました。

口演、ポスターを合わせた演題数は過去最高の146題をいただきました。ご協力を御礼申し上げます。演題数が多くなりましたので、約1/3の演題はポスター発表でお願いする事になりましたがご了承下さい。またポスター会場を含めて5会場での開催となりまして、本学術集会の特徴である基礎系、内科系、外科系の参加者が同一の場で討論するという主旨を、必ずしも満足出来ませんでした。ご容赦下さい。

教育講演としてIsam Atroschi先生(Lund University, Sweden)から手根管症候群の疫学と臨床像、診断と治療戦略の2講演、そして廣川信隆教授(東京大学分子構造・動態学)の末梢神経のモーター分子群の神経内移動、岡野栄之教授(慶応大学生理学)の再生医療の4講演を予定しております。世界最先端の研究をお聴き出来ると期待でわくわくしております。シンポジウムには「痛みと末梢神経麻痺」、パネルディスカッションには①「遺伝性ニューロパチー」、②「全身疾患と手根管症候群」、③「末梢神経障害と血流」、④「前・後骨間神経麻痺の集学的アプローチ」を組んでおります。これらにおいては、基礎系、内科系、外科系の垣根を越えての発表・討論を予定しています。「異なるアプローチから頂に至る道筋」が示される事を希望しております。

学会からの新企画として学会賞候補セッションを設けました。既に応募抄録を理事に査読していただき、優れた点数の演題を学会賞候補セッション演題に選んでおります。発表後に理事、評議員の投票により基礎系1題、内科系1題、外科系1題の学会賞が選出されます。学会賞の発表と授賞式は全員懇親会で行い、筆頭演者に賞状と副賞をお渡しします。さらにJournal club(2000年以降の文献紹介)を、内科系3人(遺伝性ニューロパチー、免疫介在性ニューロパチー、combined central and peripheral demyelination)、外科系3人(麻痺肩の再建、肘部管症候群、手根管症候群)の気鋭の若手に紹介して頂き、21世紀の進歩と今後の挑戦課題を示して頂きます。イブニングセミナーでは「内科系医師が知っておきたい末梢神経疾患の外科的治療法と成績」、「外科系医師が知っておきたい神経内科疾患の診断と治療」を行いますので、日常の研究、診療の垣根を越えて知見を増やして頂ければと希望しております。これらに加えて、従来のランチョンセミナー4題、モーニングセミナー1題、臨床検査技師や研修医のための実技セミナー(末梢神経伝導検査の実際)もごさいます。これらのセミナーでは日本整形外科学会、日本神経学会、日本リハビリテーション医学会、日本手外科学会、日本形成外科学会・日本臨床神経生理学会の専門医認定更新単位が取得可能です。

全員懇親会には、信州蕎麦、地元のワイン、B級グルメをご用意いたしますので、信州の味を堪能下さい。松本市では毎年9月初旬に国際音楽祭が行われますので、本学術集会の開催期間を9月中旬に移動させていただきました。そのため、学術集会翌日から4連休(シルバーウィーク)となります。松本市内には松本城、上高地、乗鞍・美ヶ原高原、浅間・犀・白骨温泉など人気の観光スポットが多くございます。日程の利を生かして足を運ばれ、日頃の疲れを癒して頂ければ幸いです。同時期の松本は混雑も予想されます。早めの宿泊、交通のご予約をお願いいたします。澄んだ空気、青空、北アルプスのもとで、皆様とお会い出来るのを心待ちにしております。

日 程 表

2015年9月18日(金)

第 1 会 場	第 2 会 場	第 3 会 場	ポスター会場1	ポスター会場2
3F グランデC	3F グランデB	2F メディアノB	2F レガロA	3F グランデA
7:30 7:45~開会挨拶				
8:00 7:50~8:45 JC1-1~JC1-3 JPNS Journal Club 1 (内科系) 「21世紀の進歩と課題 (2000年以降の文献review)」 座長:橋 進	7:50~8:45 JC2-1~JC2-3 JPNS Journal Club 2 (外科系) 「21世紀の進歩と課題 (2000年以降の文献review)」 座長:池田 和夫	7:50~8:45 0:34~0:39 一般演題(口演) 6 「診断・画像の新知見」 座長:鈴木 修身	8:00~11:00	8:00~11:00
9:00 8:55~10:15 PD1-1~PD1-5 パネルディスカッション 1 「遺伝性ニューロパチーの 最近の進歩」 座長:池田 修一 中川 正法 演者:中川 正法 関島 良樹 高嶋 博 小池 春樹 青木 正志	8:55~10:15 0:09~0:17 一般演題(口演) 2 「細胞治療・未来医療」 座長:國吉 一樹 砂川 融	8:55~9:35 0:40~0:44 一般演題(口演) 7 「手根管症候群 診断・評価」 座長:西浦 康正 9:35~10:25 0:45~0:50 一般演題(口演) 8 「手根管症候群 治療」 座長:尼子 雅敏	ポスター掲示 A, B	ポスター掲示 C, D, E, F, G
10:25~11:45 0:01~0:08 一般演題(口演) 1 「学会賞候補演題」 座長:三友 一憲 梶 龍兒 根本 孝一	10:20~11:10 0:18~0:23 一般演題(口演) 3 「マイクロサージャリー」 座長:田中 克己		11:00~18:00	11:00~18:00
12:00~12:30 厚生労働省セッション 「臨床研究をめぐる行政の動き」 座長:酒井 昭典 演者:神ノ田昌博	12:00~12:30 厚生労働省セッション 「臨床研究をめぐる行政の動き」 座長:酒井 昭典 演者:神ノ田昌博		ポスター展示 A, B	ポスター展示 C, D, E, F, G
12:45~13:45 LS-1 ランチョンセミナー 1 「CIDPにおける最近の知見」 座長:神田 隆 演者:飯島 正博 共催:日本製薬株式会社	12:45~13:45 LS-2 ランチョンセミナー 2 「パターンで診断するニューロパチー: 整形外科疾患との鑑別の観点から」 座長:越智 光夫 演者:三澤 園子 共催:ファイザー株式会社		17:20~18:00 P:25~P:31 ポスター発表D 「免疫介在性ニューロパチー」 座長:小池 春樹 17:20~18:00 P:32~P:39 ポスター発表E 「手根管症候群の診断」 座長:原 友紀 17:20~18:00 P:40~P:47 ポスター発表F 「手根管症候群の治療」 座長:森澤 安 17:20~18:00 P:48~P:55 ポスター発表G 「希少例の報告」 座長:成澤 弘子	
13:55~14:55 教育講演 1 「Epidemiology and Clinical Features of Carpal Tunnel Syndrome」 座長:祖父江 元 演者:Isam Atroschi				
15:00~16:30 PD2-1~PD2-6 パネルディスカッション 2 「全身疾患に伴う 手根管症候群の病態」 座長:桑原 聡 内山 茂晴 演者:多田 薫 山下 太郎 三澤 園子 園生 雅弘 内山 茂晴 Isam Atroschi(討論のみ)	15:00~15:50 0:24~0:29 一般演題(口演) 4 「GBS/CIDP」 座長:吉良 潤一 15:50~16:25 0:30~0:33 一般演題(口演) 5 「免疫性ニューロパチー」 座長:長谷川 修	15:00~15:40 0:51~0:55 一般演題(口演) 9 「肘部管症候群」 座長:宮坂 芳典 15:40~16:30 0:57~0:61, 0:58 一般演題(口演) 10 「麻痺の診断・腫瘍」 座長:石田 治		
16:35~17:05 産業医学講座 「産業現場で生じる末梢神経障害 ー特に、化学物質起因の 末梢神経障害についてー」 座長:松岡 雅人 演者:野見山哲生		16:40~17:20 P:01~P:08 ポスター発表A 「基礎研究・神経ブロック」 座長:加藤 直樹 17:20~18:00 P:09~P:16 ポスター発表B 「病態・診断・治療の 多角的アプローチ」 座長:山本美知郎	16:40~17:20 ポスター発表C 「稀な病態と手術治療」 座長:有野 浩司 17:20~18:00	16:40~17:20 17:20~18:00
18:15~19:15 ES-1 イブニングセミナー 1 「外科系医師が知っておきたい 神経内科疾患の診断と治療」 座長:柿木 良介 演者:中川 正法 共催:科研製薬株式会社	18:15~19:15 ES-2 イブニングセミナー 2 「内科医が知っておきたい 末梢神経疾患の手術適応、成績、予後」 座長:橋 進 演者:三上 容司 共催:大正富山医薬品株式会社			
19:30 19:25~				

全員懇親会 於: 2F メディアノA・B(学会賞表彰)

日 程 表

2015年9月19日(土)

第 1 会 場		第 2 会 場		ポスター会場1		ポスター会場2	
3F グランデC		3F グランデB		2F レガロA		3F グランデA	
7:30		7:30~8:30	MS	7:30~16:00		7:30~12:30	
7:45~8:15	評議員会	モーニングセミナー 「頸髄症における しびれの病態について」 座長:三澤 弘道 演者:田口 敏彦 共催:ヤンセンファーマ株式会社					
8:20~9:20	教育講演2 「iPS細胞を用いた神経系の 再生医療と病態研究」 座長:越智 光夫 演者:岡野 栄之	8:35~9:35	教育講演3 「Diagnosis and Treatment Strategy for Carpal Tunnel Syndrome」 座長:金谷 文則 演者:Isam Atroshi	ポスター展示 A,B	ポスター展示 C,D,E,F,G		
9:00	9:25~10:55 S-1~S-6 シンポジウム 「痛みと末梢神経麻痺」 座長:神田 隆 平田 仁 演者:早野 泰史 大西 哲朗 竹下 幸男 池本 竜則 齊藤 洋一 池田 修一						
10:00		10:05~12:15 MSR-1~MSR-3 メディカルスタッフ レジデント実技セミナー 「末梢神経伝導検査の実際」 座長:園生 雅弘 演者:園生 雅弘 桑原 聡 有村由美子 共催:日本光電工業株式会社					
11:00	11:00~12:20 特別講演 「モーター分子群,Kinesin superfamily proteins,KIFsと細胞内輸送: 神経機能の制御と関連疾患」 座長:加藤 博之 演者:廣川 信隆						
12:00							
12:30~13:30	12:30~13:30 LS-3 ランチョンセミナー3 「神経機能変化と疼痛の慢性化」 座長:平田 仁 演者:牛田 享宏 共催:エーザイ株式会社	12:30~13:30 LS-4 ランチョンセミナー 4 「Guillain-Barre症候群の 予後予測と治療」 座長:祖父江 元 演者:海田 賢一 共催:帝人ファーマ株式会社				ポスター撤去 12:30~13:30	
13:00							
13:40~14:10	総会						
14:00							
14:15~14:50	14:15~14:50 O-62~O-65 一般演題(口演)11 「前・後骨間神経麻痺の手術治療」 座長:越智 健介	14:15~15:35 PD3-1~PD3-6 パネルディスカッション3 「末梢神経障害と血流: 血流が神経機能に及ぼす影響」 座長:柴田 実 岩崎 倫政 演者:神田 隆 谷 俊一 岡田 充弘 本宮 真 中村 恒一 成島 三長				14:15~14:55 O-80~O-84 一般演題(口演)15 「血管炎性ニューロパチー」 座長:高嶋 博	
15:00	14:50~15:35 O-66~O-70 一般演題(口演)12 「前・後骨間神経麻痺の病態」 座長:福島 和広					14:55~15:55 O-85~O-91 一般演題(口演)16 「糖尿病性・遺伝性ニューロパチー」 座長:佐々木秀行	
15:40~17:10	15:40~17:10 PD4-1~PD4-7 パネルディスカッション4 「前・後骨間神経麻痺: 集学的アプローチ」 座長:堀内 行雄 有村 公良 演者:東原 真奈 福島 和広 砂川 融 田尻 康人 額田 均 田崎 憲一 越智 健介	15:40~16:30 O-71~O-75 一般演題(口演)13 「内科系基礎」 座長:山下 太郎					
16:00		16:30~17:05 O-76~O-79 一般演題(口演)14 「外科系基礎」 座長:伊藤聡一郎		ポスター撤去 16:00~17:00			
17:00							
17:10~	閉会式						
17:30							

第 3 会 場

3F グランデA

特別企画プログラム

2015年9月18日(金) 第1会場 (3F)グランデC

JPNS Journal Club 1 (内科系)

「JPNS Journal Club “21世紀の進歩と課題” (2000年以降の文献review)」

7:50~8:45

座長：楠 進 (近畿大学 医学部 神経内科)

JC1-1 Charcot-Marie-Tooth病の遺伝子診断の進歩と治療法の開発

岡本 裕嗣 (鹿児島大学学術研究院 医歯学域医学系 神経内科)

JC1-2 抗Neurofascin抗体関連自己免疫性脱髄疾患としての combined central and peripheral demyelination (CCPD)

山崎 亮 (九州大学病院 神経内科)

JC1-3 免疫介在性ニューロパチー

飯島 正博 (名古屋大学 神経内科・難治性神経疾患治療学講座)

パネルディスカッション1「遺伝性ニューロパチーの最近の進歩」

8:55~10:15

座長：池田 修一 (信州大学 医学部 脳神経内科、リウマチ・膠原病内科)

中川 正法 (京都府立医科大学附属北部医療センター)

PD1-1 シャルコー・マリー・トゥース病患者WEB登録システム

中川 正法 (京都府立医科大学附属北部医療センター)

PD1-2 家族性アミロイドポリニューロパチーの(FAP)の診断と治療

関島 良樹 (信州大学 医学部 脳神経内科、リウマチ・膠原病内科)

PD1-3 シャルコマリー・トゥース病(CMT)の遺伝子診断と臨床像の多様性

高嶋 博 (鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 神経病学講座 神経内科・老年病学)

PD1-4 遺伝性圧脆弱性ニューロパチー(HNPP)の臨床病理像と外科治療の試み

小池 春樹 (名古屋大学 神経内科)

PD1-5 家族性運動ニューロン病と遺伝性ニューロパチーの類似点・相違点

青木 正志 (東北大学大学院 医学系研究科 神経内科)

厚生労働省セッション

12:00～12:30

座長：酒井 昭典（産業医科大学 整形外科）

「臨床研究をめぐる行政の動き」

神ノ田 昌博（厚生労働省 医政局 研究開発振興課）

ランチョンセミナー1

12:45～13:45

座長：神田 隆（山口大学 医学部 神経内科）

LS-1 「CIDPにおける最近の知見」

飯島 正博（名古屋大学 神経内科学・難治性神経疾患治療学）

共催：日本製薬株式会社

教育講演1

13:55～14:55

座長：祖父江 元（名古屋大学 医学部 神経内科）

「Epidemiology and Clinical Features of Carpal Tunnel Syndrome」

Isam Atroshi (Chief of Hand Surgery, Department of Orthopedics, Hässleholm and Kristianstad Hospitals and associate Professor of Orthopedics, Lund University, Sweden)

パネルディスカッション2「全身疾患に伴う手根管症候群の病態」

15:00～16:30

座長：桑原 聡（千葉大学大学院 医学研究院 神経内科学）

内山 茂晴（信州大学 医学部 整形外科）

PD2-1 手根管症候群に伴う全身疾患の検討

多田 薫（金沢大学 医学部 整形外科）

PD2-2 全身性アミロイドーシスに伴う手根管症候群の病態

山下 太郎（熊本大学附属病院 アミロイドーシス診療体制構築事業 寄付講座）

PD2-3 糖尿病における手根管病変

三澤 園子（千葉大学医学部附属病院 神経内科、千葉大学大学院医学研究院 神経内科学）

PD2-4 Double crush syndrome 電気生理での確認法

園生 雅弘（帝京大学 医学部 神経内科）

PD2-5 超高齢者の手根管症候群

内山 茂晴（信州大学 医学部 運動機能学教室）

PD2-6 討論のみ

Isam Atroshi (Chief of Hand Surgery, Department of Orthopedics, Hässleholm and Kristianstad Hospitals and associate Professor of Orthopedics, Lund University, Sweden)

産業医学講座

16:35～17:05

座長：松岡 雅人（東京女子医科大学 医学部 衛生学公衆衛生学(一)）

「産業現場で生じる末梢神経障害 –特に、化学物質起因の末梢神経障害について–」

野見山哲生（信州大学 医学部 衛生学公衆衛生学教室）

イブニングセミナー 1

18:15～19:15

座長：柿木 良介（近畿大学 医学部 整形外科）

ES-1 「外科系医師が知っておきたい神経内科疾患の診断と治療」

中川 正法（京都府立医科大学、京都府立医科大学附属北部医療センター）

共催：科研製薬株式会社

2015年9月18日(金) 第2会場 (3F) グランデB

JPNS Journal Club 2 (外科系)

「JPNS Journal Club “21世紀の進歩と課題” (2000年以降の文献review)」

7:50~8:45

座長：池田 和夫 (金沢医療センター 整形外科)

JC2-1 麻痺肩の再建

岩月 克之 (名古屋大学 手の外科学)

JC2-2 手根管症候群

吉井 雄一 (東京医科大学 茨城医療センター 整形外科)

JC2-3 肘部管症候群

國吉 一樹 (千葉大学大学院 整形外科)

ランチョンセミナー2

12:45~13:45

座長：越智 光夫 (広島大学大学院 整形外科)

LS-2 「パターンで診断するニューロパチー：整形外科疾患との鑑別の観点から」

三澤 園子 (千葉大学医学部附属病院 神経内科、千葉大学大学院医学研究院 神経内科学)

共催：ファイザー株式会社

イブニングセミナー2

18:15~19:15

座長：楠 進 (近畿大学 医学部 神経内科)

ES-2 「内科医が知っておきたい末梢神経疾患の手術適応、成績、予後」

三上 容司 (横浜労災病院 運動器センター)

共催：大正富山医薬品株式会社

2015年9月19日(土) 第1会場 (3F)グランデC

教育講演2

8:20~9:20

座長：越智 光夫（広島大学大学院 整形外科学）

「iPS細胞を用いた神経系の再生医療と病態研究」

岡野 栄之（慶應義塾大学 医学部 生理学教室）

シンポジウム「痛みと末梢神経麻痺」

9:25~10:55

座長：神田 隆（山口大学大学院 医学系研究科 神経内科学）
平田 仁（名古屋大学 手の外科）

S-1 脊髄後角介在ニューロン由来因子による神経障害性疼痛の分子メカニズム

早野 泰史（大阪大学 大学院 医学系研究科 分子神経科学教室）

S-2 神経手術後の術後疼痛 神経障害性疼痛の疫学データと比較して

大西 哲朗（名古屋大学 手の外科）

S-3 small fiber neuropathyの特徴と診断

竹下 幸男（山口大学大学院 医学系研究科 神経内科学）

S-4 学際的視点からみた慢性痛の病態

池本 竜則（愛知医科大学 運動療育センター・痛みセンター）

S-5 難治性末梢神経障害性疼痛に対する脳神経外科治療

齋藤 洋一（大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経機能再生学）

S-6 内科領域における神経痛性麻痺

池田 修一（信州大学 医学部 脳神経内科、リウマチ・膠原病内科）

特別講演

11:00~12:20

座長：加藤 博之（信州大学 医学部 整形外科）

「モーター分子群、Kinesin superfamily proteins, KIFs と細胞内輸送： 神経機能の制御と関連疾患」

廣川 信隆（東京大学大学院 医学系研究科）

ランチョンセミナー 3

12:30~13:30

座長：平田 仁（名古屋大学 手の外科）

LS-3 「神経機能変化と疼痛の慢性化」

牛田 享宏（愛知医科大学 医学部 学際的痛みセンター／運動療育センター）

共催：エーザイ株式会社

パネルディスカッション4「前・後骨間神経麻痺：集学的アプローチ」

15:40~17:10

座長：堀内 行雄（川崎市病院局）

有村 公良（医療法人三州会 大勝病院）

PD4-1 神経痛性筋萎縮症 ー本邦における臨床像についての検討ー

東原 真奈（東京都健康長寿医療センター 神経内科）

PD4-2 神経痛性筋萎縮症(neuralgic amyotrophy)の概念と臨床像

福島 和広（信州大学医学部附属病院 難病診療センター）

PD4-3 超音波検査による特発性前骨間神経麻痺における「砂時計様くびれ」の術前診断

砂川 融（広島大学病院 整形外科）

PD4-4 神経線維束間剥離術 くびれ探索のコツ

田尻 康人（東京都立広尾病院 整形外科）

PD4-5 特発性後骨間神経麻痺における“くびれ”の病理学的検討

額田 均（額田医学生物学研究所）

PD4-6 骨間神経麻痺：手術治療の適応と時期 ー外科的治療ー

田崎 憲一（荻窪病院 整形外科・手外科）

PD4-7 特発性前骨間神経麻痺と特発性後骨間神経麻痺の前向き多施設臨床研究 (iNPS-JAPAN)調査報告

越智 健介（前・後骨間神経麻痺前向き多施設研究グループ (iNPS-JAPAN)）

2015年9月19日(土) 第2会場 (3F)グランデB

モーニングセミナー

7:30~8:30

座長：三澤 弘道（依田窪病院）

MS 「頸髄症におけるしびれの病態について」

田口 敏彦（山口大学大学院 医学系研究科 整形外科）

共催：ヤンセンファーマ株式会社

教育講演3

8:35~9:35

座長：金谷 文則（琉球大学大学院 医学研究科 整形外科学講座）

「Diagnosis and Treatment Strategy for Carpal Tunnel Syndrome」

Isam Atroschi（Chief of Hand Surgery, Department of Orthopedics, Hässleholm and Kristianstad Hospitals and associate Professor of Orthopedics, Lund University, Sweden）

メディカルスタッフ・レジデント実技セミナー「末梢神経伝導検査の実際」

10:05~12:15

座長：園生 雅弘（帝京大学 医学部 神経内科）

MSR-1 理論とピットフォール

園生 雅弘（帝京大学 医学部 神経内科）

MSR-2 上肢の神経伝導検査（手根管症候群を中心に）

桑原 聡（千葉大学大学院医学研究院 神経内科学）

MSR-3 下肢の神経伝導検査（多発ニューロパチー）

有村由美子（鹿児島大学 神経内科）

共催：日本光電工業株式会社

ランチョンセミナー4

12:30~13:30

座長：祖父江 元（名古屋大学 医学部 神経内科）

LS-4 「Guillain-Barré症候群の予後予測と治療」

海田 賢一（防衛医科大学校 内科学講座 神経内科）

共催：帝人ファーマ株式会社

パネルディスカッション3

「末梢神経障害と血流：血流が神経機能に及ぼす影響」

14:15～15:35

座長：柴田 実（新潟大学医学部形成外科）

岩崎 倫政（北海道大学大学院 医学研究科 整形外科学分野）

PD3-1 免疫介在性ニューロパチーにおけるblood-nerve barrierの変化

神田 隆（山口大学大学院 医学系研究科 神経内科学）

PD3-2 正中神経圧迫虚血による神経伝導性と軸索興奮性の変化

谷 俊一（くぼかわ病院 整形外科）

PD3-3 インドシアニングリーン蛍光法を用いた末梢神経内微小血行動態評価法

岡田 充弘（大阪市立大学大学院 医学研究科 整形外科学）

PD3-4 手根管症候群における微小循環 超音波による測定

本宮 真（北海道大学大学院 医学研究科 整形外科学分野）

PD3-5 尺骨神経前方移動術の術後成績：伴走血管温存と非温存の無作為前向き研究

中村 恒一（北アルプス医療センターあづみ病院 整形外科）

PD3-6 各種血管付き神経移植による再建法と実験研究

成島 三長（東京大学 形成外科 美容外科）

一般演題プログラム

2015年9月18日(金) 第1会場 (3F)グランデC

一般演題(口演)1「学会賞候補演題」

10:25~11:45

座長：三五 一憲（東京都医学総合研究所 末梢神経病態研究室）

梶 龍兒（徳島大学医学部神経内科）

根本 孝一（防衛医科大学校整形外科）

- O-01 末梢神経再生を目指した線維芽細胞からシュワン細胞への直接転換
素輪 善弘（京都府立医科大学 形成外科）
- O-02 脱細胞化同種神経基底膜と骨髄間葉系細胞を移植した血管茎含有神経導管：
自家神経移植術との比較
貝澤 幸俊（八幡中央病院 整形外科）
- O-03 葉酸欠乏性ニューロパチーの臨床病理学的特徴
小池 春樹（名古屋大学 神経内科）
- O-04 筋萎縮性側索硬化症における線維束電位(fasciculation potential)のプロファイルと
臨床症状との相関について
木田 耕太（東京都立神経病院 脳神経内科）
- O-05 橈骨神経損傷に対する神経移行術を目的とした正中・橈骨神経の解剖学的検討
上野 啓介（千葉大学大学院 整形外科学）
- O-06 重度手根管症候群におけるSL-INT法を用いた母指対立機能回復の検討
土田 真嗣（京都府立医科大学大学院 医学研究科 運動器機能再生外科学（整形外科学教室））
- O-07 閉鎖神経部分移行により回復し得た医原性大腿神経麻痺
山本 真一（横浜労災病院 手・末梢神経外科）
- O-08 腕神経叢損傷における手術用ロボットシステムを用いた神経移行術の経験
内藤 聖人（順天堂大学 医学部 整形外科）

2015年9月18日(金) 第2会場 (3F)グランデB

一般演題(口演)2「細胞治療・未来医療」

8:55~10:15

座長：國吉 一樹 (千葉大学 医学部 整形外科)
砂川 融 (広島大学 医学部 整形外科)

- O-09 末梢神経損傷治療を目指したヒトiPS細胞から神経堤幹細胞への分化誘導
安部 玲 (千葉大学大学院 医学研究院 整形外科)
- O-10 ヒト脂肪組織由来再生細胞(adipose tissue derived regenerative cell: ADRC)を用いた新たな末梢神経再生促進療法の開発
藤岡 弓朗 (広島大学 医学部 整形外科学)
- O-11 人工神経に付加したiPS細胞由来神経前駆細胞による末梢神経再生の促進効果
横井 卓哉 (大阪市立大学大学院 医学研究科 整形外科学)
- O-12 Adipose-derived regenerative cellsを用いたハイブリッド型人工神経は末梢神経再生を促進する
岡本 駿郎 (富山県高志リハビリテーション病院 整形外科)
- O-13 患者iPS細胞を用いたCharcot-Marie-Tooth病モデルの確立
大原 亮 (京都府立医科大学 医学部 神経内科)
- O-14 神経再生誘導チューブ使用症例の短期成績
山田 哲生 (東京手の外科・スポーツ医学研究所 高月整形外科病院)
- O-15 尺骨神経の動的環境は神経内の微小血行動態に影響を与える
—異なる肘関節屈曲角度による造影超音波評価—
松井雄一郎 (北海道大学大学院 医学研究科 整形外科学分野)
- O-16 血管柄付き人工神経による末梢神経軸索再生の試み
安食 孝士 (自治医科大学 整形外科)
- O-17 手術支援ロボット・da Vinciを使用した絞扼性神経障害に対する神経外剥離術の課題と展望
市原 理司 (ストラスブール大学 手外科センター)

一般演題(口演)3「マイクロサージャリー」

10:20~11:10

座長：田中 克己 (長崎大学 医学部 形成外科)

- O-18 血管柄付脂肪移植を用いた頭部・顔面・頸部領域における神経障害への治療
田中 克己 (長崎大学 医学部 形成外科)
- O-19 埋没した指輪による指神経絞扼 —Embedded ring syndrome—
上村 卓也 (大阪市立大学 医学部 整形外科)

- O-20 正中神経領域の知覚再建 背側指神経から掌側指神経への
Very Distal Sensory Nerve Trans
小平 聡（埼玉成恵会病院・埼玉手外科研究所）
- O-21 尺骨神経断裂に対する神経縫合の3例
池口 良輔（京都大学 整形外科）
- O-22 flapを用いた絞扼性末梢神経障害に対する外科的治療法
横山 貴之（東京大学医学部附属病院 形成外科・美容外科）
- O-23 膝窩部癒着性総腓骨神経障害に対して近位茎腓腹筋膜皮弁を施行した1例
太田 壮一（京都大学 医学部 整形外科）

一般演題(口演)4「GBS/CIDP」

15:00~15:50

座長：吉良 潤一（九州大学 医学部 神経内科）

- O-24 Guillain-Barré症候群亜型の再発例の臨床像
船越 慶（獨協医科大学 内科学（神経））
- O-25 病初期に時間的分散を認め、免疫治療が著効したギラン・バレー症候群の2症例
宮内 敦生（埼玉医科大学総合医療センター 神経内科）
- O-26 発症時から感覚性運動失調が著明であった
acute motor and sensory axonal neuropathyの49歳女性例
高崎 寛（防衛医科大学校 内科学第3 神経・抗加齢内科）
- O-27 単純血漿交換療法が奏効した抗Neurofascin155抗体陽性CIDPの1例
桑原 基（近畿大学 神経内科）
- O-28 有髄線維の脱落を呈したCIDPの臨床病理学的検討
池田 昇平（名古屋大学 神経内科）
- O-29 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症とCIDPの横隔神経M波の比較検討
成川 真也（埼玉医科大学総合医療センター 神経内科）

一般演題(口演)5「免疫性ニューロパチー」

15:50~16:25

座長：長谷川 修（横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合診療科）

- O-30 抗MAG抗体陽性ニューロパチーにおけるランビエ絞輪部周辺分子の分布異常
川頭 祐一（名古屋大学 神経内科）
- O-31 抗neurofascin 155抗体関連末梢神経肥厚型CIDP
緒方 英紀（九州大学大学院 医学研究院 神経内科学）

- O-32 Rituximab投与が有効であった抗MAG抗体陽性ニューロパチーの1例
橋本 里奈（国立病院機構 東名古屋病院 神経内科）
- O-33 進行性の四肢脱力、呼吸不全を呈し、病理学的に筋萎縮性側索硬化症の合併が示された抗MAG抗体関連脱髄性ニューロパチーの1剖検例
結城奈津子（国立病院機構 神経内科 舞鶴医療センター）

2015年9月18日(金) 第3会場 (2F)メディアーノB

一般演題(口演)6「診断・画像の新知見」

7:50~8:45

座長：鈴木 修身（広島総合病院 整形外科）

- O-34 下肢末梢神経伝導検査における所謂「50%ルール」の妥当性について
大石知瑞子（杏林大学 医学部 神経内科）
- O-35 Functional MRIを用いたCRPS症例における脳血流低下の検討
益子 竜弥（製鉄記念室蘭病院 整形外科）
- O-36 しびれ外来患者2000人における末梢神経患者の分析
野地 雅人（神奈川県立病院機構 神奈川県立足柄上病院 脳神経外科）
- O-37 指尖部切断に対して神経縫合を実施しない再接着手術に対する術後調査
竹内 久貴（神戸市立医療センター中央市民病院 整形外科）
- O-38 尺骨神経背側枝のMRI解剖
橋本 貴弘（山口大学 医学部 整形外科）
- O-39 伸筋腱皮下断裂との鑑別に苦慮した後骨間神経麻痺の治療経験
山中 清孝（多根総合病院）

一般演題(口演)7「手根管症候群 診断・評価」

8:55~9:35

座長：西浦 康正（筑波大学附属病院 土浦市地域臨床教育ステーション）

- O-40 手根管症候群における脳内変化について
岩月 克之（名古屋大学 医学部 手の外科）
- O-41 手根管症候群の診断には環指の知覚スプリットが重要
橋詰 博行（医療法人社団清和会 笠岡第一病院 笠岡手外科・上肢外科センター）
- O-42 手根管症候群手術例における電気生理学的重症度との関連
金谷 貴子（神戸労災病院 整形外科）

- O-43 手根管症候群の種々の電気診断手技の感度特異度の比較：偽陽性例の適切な扱いを含めて
宮地 洋輔（帝京大学 医学部 神経内科）
- O-44 手根管症候群手術症例における超音波検査による母指球筋萎縮の評価
名倉 一成（神戸労災病院 整形外科）

一般演題(口演)8「手根管症候群 治療」

9:35～10:25

座長：尼子 雅敏（防衛医科大学校 整形外科）

- O-45 手根管症候群に対する保存治療成績
佐藤 攻（函館五稜郭病院 整形外科）
- O-46 Kienböck病に合併した手根管症候群
篠原 孝明（中日病院 名古屋手外科センター）
- O-47 橈骨遠位端骨折に合併する手根管症候群
高原 政利（泉整形外科病院 手肘スポーツ）
- O-48 手根管症候群手術例のしびれ・痛みの術後経過について
岩渕 翔（ひたちなか総合病院 整形外科）
- O-49 短母指外転筋複合筋活動電位消失の重症手根管症候群症例における、
術後回復の予後予測因子の検討
神谷 久雄（帝京大学 医学部 神経内科）
- O-50 末期手根管症候群において手根管開放術後に母指対立障害の改善が予測可能となる期間
中井 生男（佐倉整形外科病院）

一般演題(口演)9「肘部管症候群」

15:00～15:40

座長：宮坂 芳典（仙塩利府病院 整形外科）

- O-51 若年成人ボランティアにおける母指内転筋力とピンチ力
佐竹 寛史（山形大学 医学部 整形外科）
- O-52 肘部管症候群の病因についての検討
成澤 弘子（一般財団法人 新潟手の外科研究所）
- O-53 肘部管症候群に対する鏡視下前方移行術－King変法(赤堀法)との関連
小西池泰三（岡山赤十字病院 整形外科）
- O-54 肘部管症候群に対し神経への血流を温存する筋層間移行術
山野 慶樹（清恵会病院 大阪マイクロサージャリーセンター）
- O-55 上腕骨遠位端骨折のORIFのための新しい尺骨神経移動手技
森谷 史朗（岡山済生会総合病院 整形外科）

一般演題(口演)10「麻痺の診断・腫瘍」

15:40~16:30

座長：石田 治（広島市民病院 整形外科）

- O-57 痺れに関する科学的・客観的分類の試み
石井 宣一（東京医科歯科大学 整形外科学）
- O-58 指神経における腫瘍性病変の検討
納村 直希（金沢医療センター 整形外科）
- O-59 四肢に発生した神経鞘腫の治療成績
前田 和洋（東京慈恵会医科大学 整形外科）
- O-60 肩関節包鏡視下縫合糸による腋窩神経損傷の3例
岩瀬 真希（千葉大学大学院 整形外科学）
- O-61 試験的負荷試験を診断の補助として用いた腓骨神経障害の1例
金 景成（日本医科大学千葉北総病院 脳神経センター）
- O-56 絞扼性腓骨神経障害診断に対する誘発テストの前向き研究
岩本 直高（釧路労災病院 脳神経外科）

2015年9月19日(土) 第1会場 (3F)グランデC

一般演題(口演)11「前・後骨間神経麻痺の手術治療」

14:15~14:50

座長：越智 健介（慶應義塾大学 医学部 整形外科）

- O-62 Anterior interosseous nerve palsy after shoulder arthroscopy
Lee Hyun-Joo (Kyungpook National University Hospital)
- O-63 後骨間神経麻痺手術例の検討
橋詰 博行（医療法人社団清和会 笠岡第一病院 笠岡手外科・上肢外科センター）
- O-64 当院における特発性前骨間神経麻痺の手術所見と臨床成績
加藤 直樹（埼玉成恵会病院 埼玉手外科研究所）
- O-65 前骨間神経麻痺における長母指屈筋の再建を目的とした神経移行術の解剖学的検討
廣澤 直也（千葉大学大学院 整形外科学）

一般演題(口演)12「前・後骨間神経麻痺の病態」

14:50~15:35

座長：福島 和広（信州大学 医学部 神経内科）

- O-66 砂時計様くびれを伴った特発性腋窩神経麻痺の1例
澤田 智一（静岡市立静岡病院）
- O-67 特発性末梢神経麻痺の臨床像の把握：神経痛性筋萎縮症臨床診断基準による自験例の検討
原 友紀（筑波大学 医学医療系 整形外科）
- O-68 後骨間神経麻痺・尺骨神経麻痺合併を呈する病態とその治療経験
頭川 峰志（富山大学 医学部 整形外科）
- O-69 後骨間神経麻痺・高位尺骨神経運動麻痺合併例の検討
田嶋 光（熊本整形外科病院）
- O-70 「内科的」治療を考慮すべき「圧迫による」骨間神経障害群
森 仁（倉敷中央病院 神経内科）

2015年9月19日(土) 第2会場 (3F)グランデB

一般演題(口演)13「内科系基礎」

15:40~16:30

座長：山下 太郎（熊本大学附属病院 アミロイドーシス診療体制構築事業 寄付講座）

- O-71 高血圧自然発症ラット(SHR)末梢神経障害に対する降圧剤の効果
堀田亮太郎（公益財団法人 額田医学生物学研究所）
- O-72 グルコサミンは末梢神経系インスリンシグナルを減弱する
水上 浩哉（弘前大学大学院 医学研究科 分子病態病理学講座）
- O-73 慢性炎症性脱髄性多発神経炎におけるT細胞ケモカイン受容体
池口亮太郎（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 免疫研究部）
- O-74 慢性経過の脱髄性ニューロパチーを発症するモデルマウスの臨床病理学的検討
飯島 正博（名古屋大学 神経内科）
- O-75 シュワン細胞はTTR型アミロイドーシスの神経変性に関与する
村上 龍文（川崎医科大学 神経内科）

一般演題(口演) 14「外科系基礎」

16:30~17:05

座長：伊藤聡一郎（桜会病院 整形外科）

- O-76 末梢神経障害に対するsubsynovial connective tissueの影響
～ヌードマウス坐骨神経損傷モデルを用いた検討～
芝山 昌貴（千葉大学大学院医学研究院 整形外科）
- O-77 ラット腕神経叢引き抜き損傷モデルにおけるC3-T4髄節における
脊髄後角のグリア細胞活性
松浦 佑介（千葉大学大学院 医学研究院 整形外科）
- O-78 ラット腕神経叢引き抜き損傷モデルにおける後根神経節および脊髄でのp75 NTRの発現
小林 倫子（千葉大学大学院 医学研究院 整形外科）
- O-79 脱細胞化処理した同種神経と配向性キトサン・チューブの神経再生誘導効果 比較
伊藤聡一郎（桜会病院 整形外科）

2015年9月19日(土) 第3会場 (3F) グランデA

一般演題(口演) 15「血管炎性ニューロパチー」

14:15~14:55

座長：高嶋 博（鹿児島大学 医学部 神経内科）

- O-80 血管炎性ニューロパチーにおけるB cell activating factor belonging to the tumor
necrosis factor family(BAFF)の発現に関する組織学的検討
川崎 照晃（康生会 武田病院 神経脳血管センター）
- O-81 遺伝性と考えられる末梢神経障害に血管炎性末梢神経障害を合併した一症例
山岸 裕子（近畿大学 医学部 神経内科）
- O-82 顕微鏡的多発血管炎に伴うニューロパチーと
非全身性血管炎性ニューロパチーにおける病態の差異
高橋 美江（名古屋大学大学院 医学系研究科 神経内科）
- O-83 人工股関節術直後に嚥下障害を呈したPost surgical inflammatory neuropathyの
82歳男性例
吉長 恒明（信州大学 医学部 脳神経内科）
- O-84 抗ガングリオシド抗体陽性であった筋萎縮性側索硬化症(amyotrophic lateral
sclerosis; ALS) 患者の検討
辻 有希子（京都府立医科大学大学院 医学研究科 神経内科学）

座長：佐々木秀行（和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院 内科）

- O-85 Exendin-4の末梢神経保護作用：インスリン、RhoA、PI3Kシグナルの関与
塚本 雅美（東京都医学総合研究所 糖尿病性神経障害プロジェクト）
- O-86 糖尿病多発神経障害の診断におけるDPNチェックの有用性
平康 雄大（和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院 中央検査室）
- O-87 糖尿病神経障害初期にみられる伝導速度低下
長谷川 修（横浜市立大学 市民総合医療センター 総合診療科）
- O-88 神経核内封入体病の末梢神経における電気生理学的特徴
渡辺 慶介（千葉大学大学院 医学研究院 神経内科学）
- O-89 本邦におけるmethionyl-tRNA synthetase (MARS), p.P800T変異によるCMT2Uの3家系
橋口 昭大（鹿児島大学 医歯学総合研究科 神経内科・老年病学）
- O-90 Val30Met TTR型FAP患者の末梢神経障害に対するジフルニサルの中期的効果
大橋 信彦（信州大学医学部附属病院 第三内科）
- O-91 痙性歩行を呈し、電気生理学的に中枢・末梢神経の脱髄所見と発汗障害を認めた成人型Krabbe病の54歳男性例
杉本 恒平（埼玉医科大学総合医療センター 神経内科）

2015年9月18日(金) ポスター会場1 (2F)レガロA

一般演題(ポスター)A「基礎研究・神経ブロック」

16:40~17:20

座長：加藤 直樹（埼玉成恵会病院 手外科研究所）

- P-01 中枢神経再生と末梢神経再生に関与する遺伝子群の違い
大村 威夫（浜松医科大学医学部附属病院 整形外科学教室）
- P-02 超音波による肘部管内尺骨神経の動態解析 ―肘部管症候群患者と健常者の比較―
中野 健一（奈良県立医科大学 整形外科）
- P-03 肘部管周囲における尺骨神経分枝の解剖学的検討
―皮下前方移所術における筋枝の温存を目的として―
木内 均（千葉大学大学院医学研究院 整形外科学）
- P-04 末梢性神経障害性疼痛に対する直漢法の有用性
益子 竜弥（製鉄記念室蘭病院 整形外科）
- P-05 超音波ガイド下腋窩部伝達麻酔の治療成績 ―筋皮神経、橈骨神経麻酔の重要性
水島 秀幸（JCHO 中京病院 整形外科）
- P-06 末梢神経ブロック併用全身麻酔は手の外科手術において痛みの長期予後を改善するか
大岩 彩乃（東邦大学医療センター大森病院 麻酔科）
- P-07 末梢神経ブロックが奏功した複合性局所疼痛症候群の2症例
大岩 彩乃（東邦大学医療センター大森病院 麻酔科）
- P-08 ガングリオンによる後骨間神経麻痺の1例
～電気生理検査・エコーガイド下穿刺による保存療法～
関 康弘（諏訪中央病院 整形外科）

一般演題(ポスター)B「病態・診断・治療の多角的アプローチ」

17:20~18:00

座長：山本美知郎（名古屋大学 医学部 手外科）

- P-09 Desert hedgehogが血液神経関門のバリア機能を制御する
安部 真彰（山口大学 大学院 神経内科学）
- P-10 運動・感覚神経軸索特性から見た1型・2型糖尿病患者における末梢神経障害の特徴
磯瀬沙希里（国立病院機構 千葉東病院）
- P-11 セマフォリン5Aは感覚性の末梢神経線維に対して誘引・許容性の作用を有している
増田 知之（筑波大学 医学医療系 解剖学グループ）
- P-12 刺激極性がF波に及ぼす影響
片山 雅史（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科）

- P-13 肘部管症候群 鏡視下手術のCPT検査
野々村 秀彦（岐阜赤十字病院 整形外科）
- P-14 短腓骨筋内神経の形態評価
野村 美和（鹿児島大学 医学部 神経内科）
- P-15 末梢神経切断縫合モデルにおけるHGFの影響についての検討
赤坂 朋代（千葉大学大学院医学研究院 整形外科学）
- P-16 上位型腕神経叢損傷に対するOberlin法術後の主観的治療成績について
河村 太介（北海道大学大学院 医学研究科 整形外科学分野）

2015年9月18日(金) ポスター会場2 (3F)グランデA

一般演題(ポスター)C「稀な病態と手術治療」

16:40～17:20

座長：有野 浩司（防衛医科大学校 整形外科）

- P-17 陳旧性指神経損傷に対する人工神経移植術の短期経過
鈴木 修身（JA 広島総合病院 整形外科）
- P-18 診断治療に苦慮した肩甲上・腋窩神経合併損傷の2例
佐野 和史（獨協医科大学 越谷病院 整形外科）
- P-19 急激に身長が伸びた事が原因と考えられる肘関節部尺骨神経障害の2例
松木 正史（京都第二赤十字病院 整形外科）
- P-20 腱性アーチが原因と考えた尺骨神経管症候群6例の検討
福田 誠（大阪市立総合医療センター 整形外科）
- P-21 手掌中央部ガングリオンによる尺骨神経深枝麻痺の1例
～診断と手術アプローチについて～
長谷川和重（仙塩利府病院 整形外科）
- P-22 下腿完全切断再接着術後の神経回復の長期的予後
畑中 渉（医療法人菊郷会 愛育病院 整形外科）
- P-23 当院における足根管症候群の手術治療経験
倉 明彦（熊本整形外科病院）
- P-24 FDG-PETにより確定診断し手指機能を再獲得しえた乳癌腕神経叢浸潤の1例
原 由紀則（東京都立広尾病院 整形外科・末梢神経外科）

一般演題(ポスター)D「免疫介在性ニューロパチー」

17:20~18:00

座長：小池 春樹（名古屋大学 医学部 神経内科）

- P-25 視神経症状を伴ったGM1/GD1a複合抗体陽性AMAN型ギラン・バレー症候群の17歳男性例
岸 雅彦（東邦大学医療センター 佐倉病院 神経内科）
- P-26 急性多発性脳神経麻痺の1例 ～脳神経型GBS亜型？～
喜多也寸志（兵庫県立姫路循環器病センター 神経内科）
- P-27 抗ポリオウィルス中和抗体価が病勢に相関したと考えられた、右下肢筋萎縮を呈した末梢神経障害の一例
齋藤 和幸（中野総合病院 神経内科）
- P-28 マイコプラズマ感染後に急性発症した多巣性運動ニューロパチー(MMN)の1例
中島 大輔（京都府立医科大学 神経内科）
- P-29 ANCA陽性の肥厚性硬膜炎に合併した血管炎性ニューロパチーの一例
宇佐美恵子（JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 神経内科）
- P-30 血管炎の関与が疑われた両側腕神経叢炎の1例
大山 徹也（鹿児島大学病院 神経内科）
- P-31 急性間欠性ポルフィリン症2例の腓腹神経病理像の検討
平 賢一郎（東京大学医学部附属病院 神経内科）

一般演題(ポスター)E「手根管症候群の診断」

17:20~18:00

座長：原 友紀（筑波大学 医学部 整形外科）

- P-32 特発性手根管症候群の屈筋腱滑膜におけるWnt9aの発現亢進
酒井 昭典（産業医科大学 医学部 整形外科）
- P-33 TTRアミロイド沈着を認める手根管症候群の特徴と心機能
大茂 壽久（戸畑共立病院 整形外科）
- P-34 手根管症候群におけるエコー所見の検討 -重症例との比較
林原 雅子（鳥取大学 整形外科）
- P-35 手根管症候群の誘発テストに与える因子分析
目貫 邦隆（産業医科大学 整形外科）
- P-36 横手根靱帯上に存在するHypertrophic muscleの解剖学的検討
-正中神経運動枝の異常走行との関連性-
金塚 彩（千葉大学大学院 医学研究院 環境生命医学教室）

- P-37 第2虫様筋骨間筋法施行時に観察されるpremotor potential
～手根管症候群の電気診断における意義～
児玉 三彦（東海大学 医学部 専門診療学系 リハビリテーション科学）
- P-38 重度手根管症候群に対する母指対立再建術式の患者立脚型比較 –木森法の優位性–
蜂須賀裕己（国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 整形外科）
- P-39 手根管内で感覚枝の分岐を有した手根管症候群の1例
國保 倫子（日本医科大学 千葉北総病院 脳神経センター）

一般演題(ポスター)F「手根管症候群の治療」

17:20～18:00

座長：森澤 妥（国立病院機構 埼玉病院 整形外科）

- P-40 術前の不安傾向と抑うつ状態が透析手根管症候群の術後短期成績に及ぼす影響
勝又 愛美（東京女子医科大学 整形外科）
- P-41 高齢者(80歳以上)の手根管症候群の術後成績
蔡 栄美（市立池田病院 整形外科）
- P-42 鏡視下手根管開放術における腱鞘滑膜切除の意義
小西池泰三（岡山赤十字病院 整形外科）
- P-43 Endoscopic Treatment of Carpal Tunnel Syndrome in Patients
Lee Hyun-Joo (Kyungpook National University Hospital)
- P-44 鼻鏡を用いた手根管開放術
沢辺 一馬（美杉会 男山病院 整形外科）
- P-45 重症手根管症候群に対する短母指外転筋を用いた同時母指対立再建術の治療経験
橋村 卓実（関西電力病院 脊椎外科・手外科・整形外科）
- P-46 特発性手根管症候群に対する手根管開放術の患者主観評価成績と予後関連因子
矢野 公一（清恵会病院 整形外科）
- P-47 手根管症候群に対する鏡視下手根管開放術後の運動神経伝導速度の改善について
伊藤 淳（相模大野駅前タワー整形外科・リウマチ科）

一般演題(ポスター)G「希少例の報告」

17:20～18:00

座長：成澤 弘子（新潟手の外科研究所）

- P-48 正中神経内に発生した結節性筋膜炎の1例
山本美知郎（名古屋大学 手の外科）
- P-49 小児に発生した正中神経内結節性筋膜炎の一例
金谷 耕平（札幌医科大学 医学部 整形外科）

- P-50 出産を契機に発症した両側後骨間神経麻痺の1例
大谷 和裕（市立岸和田市民病院 整形外科）
- P-51 尺骨腫瘍切除後の橈骨頭脱臼に生じた後骨間神経麻痺の一例
大野晋太郎（防衛医科大学校 整形外科学講座）
- P-52 遠位橈尺関節から発生した尺骨神経内ガングリオン
新谷 康介（大阪市立大学大学院 医学研究科 整形外科学）
- P-53 破格筋が発症に関与したと考えられる、肘部管症候と重複したGuyon管症候群の1例
依藤麻紀子（東京医科大学 整形外科）
- P-54 ギオン管症候群の2例
牧之段 淳（西陣病院 整形外科）
- P-55 臀部筋区画症候群による坐骨神経麻痺の1例
浅野 研一（名古屋大学大学院 手の外科）